

2学期をふりかえって

鎌田直純

時の流れは本当に早く、いよいよ今年も残すところわずかとなりました。寒い毎日ですが、子どもたちの明るく元気な声が、教室や校庭から聞こえてくると、私も幸せな気持ちになります。

さて、2学期はたくさんの行事がありました。まずは運動会。天気にも恵まれ子どもたちはのびのびと競技や演技に打ち込みました。下級生が生活団のペアのお兄さんやお姉さんたちを応援する様も微笑ましいものでした。また6年生の組体操は素晴らしく、皆が力を合わせて立体的な形を身体で表現する演技は感動を呼びました。最高学年としての自覚と成長が強く印象付けられました。

今年の全校遠足は、飯能市郊外の多峰主山（とうのすやま）登山でした。私にとっては昨年が続いて二度目になります。私は先頭に立って登山口まで歩き、頂上へは一足先に登り、生活団がやって来るのを待ち、それぞれの団の人員点呼の報告を受けて、記念撮影を行いました。1年生もずいぶんしっかりとしてきたように見受けられ、成長をしっかりと感じました。

創立記念日の式典後に行われるきくまつりは、天気が少し危ぶまれましたが崩れることはなく、よいお祭りになりました。立派に咲いた菊の花はそれぞれとても美しく、花を育てる喜びを皆共有したことでしょう。学校の畑で育てた野菜を使った菊の子汁と飯盒で炊いたご飯は本当においしく、何度もお替りする子どもも多かったようです。最後に子どもたちの書いた夢を乗せて風船が空に放たれました。今年は風向きのせいか、一つも木々の枝に引っかからず大空に飛び立ち、小さく見えなくなるまで、風船を見送りました。

きくの子展覧会は、皆が自由に表現した力作が並びました。個人の作品、そして生活団単位での共同作品、どちらものびのびと創作されていて、とても興味深く鑑賞しました。皆で力を合わせて目標を立て何かを成し遂げていく力は、子どもたちの成長になくてはならないものだと思います。年が明けたらお別れ音楽会が待っています。子どもたちの奏でるハーモニーを今から楽しみにしています。

最後になりましたが、皆様の附属大泉小学校へのご理解、ご協力に心から感謝しております。3学期もよろしく願いいたします。新しい年の皆様の御健康と御多幸をお祈りしております。